

大金久地区 みんなで創る未来への計画書

2022年3月18日

目次

1. 管理運営計画作成の背景

2. 大金久地区が目指す姿

3. 管理運営方針

- 基本方針 1 : 自然景観や生態系の持続的管理
- 基本方針 2 : 環境文化の継承支援とそれを活かした体験・学習支援の提供
- 基本方針 3 : ソフト・ハードの基盤整備による持続可能な地域住民、観光利用の推進
- 基本方針 4 : 地域住民や関係者が連携して管理運営に参画する協働型の体制づくり
- 基本方針 5 : 地域経済の活性化や持続可能な地域づくりへの貢献

1. 管理運営計画作成の背景



町民に愛され、利用される大金久地区を目指します

大金久地区は、かつて百合カ浜への玄関口として多くの観光客で賑わっていましたが、観光客の減少にによる事業者の撤退や施設の老朽化などに伴い、利用者が減少しています。そのような中、与論町や観光関係者、団体等で同地区の施設や植栽等の環境整備、エリアの活性化を考えています。本管理運営計画書の作成にあたっては、関係機関へのヒアリング及び地域住民とのワークショップや意見交換会を実施し、反映しています。また、先行して策定されている与論町観光振興計画、奄美群島国立公園管理運営計画等との整合性を図りながら作成しています。

2. 大金久地区が目指す姿

将来像 ①

隆起サンゴ礁が造り出した景観や生態系を守り続けます

島ならではの多様な海岸や沿岸に広がるサンゴ礁、自然植生が将来にわたって保全されるとともに、訪れる誰もが島独自の景観や生態系の豊かさを感じ、配慮しながら楽しみ、学び、満喫できている。

将来像 ②

自然と人との深くかかわり共生してきた文化を大事にします

自然と近い場所に人々が住み続け、自然と共生する文化が息づいています。そして、地域の自然を上手に利用し継承してきた人々の営みの歴史・文化を体験の一つとして利用者に提供し、与論島の特色のある環境文化を次世代に引き継ぐ。

将来像 ③

みんなで地域に活力をもたらします

自然環境や社会、文化にマッチした適切かつ特色ある利用が進み、滞在時間の延長やリピート利用の増大が図られている。同地区の地域づくりを通じて、観光業および農漁業等の地域産業が活性化や人々の交流が進み、活力にあふれている。

3. 大金久地区の管理運営方針



1. 自然景観や生態系の持続的管理

■ 観光業や農漁業との調整を図りつつ、関係機関と連携し、自然景観や生態系の保全・管理に寄与していきます。



2. 環境文化の継承

■ 自然と人の暮らしとのかかわりを「環境文化」という視点でとらえ直し、漁（いざり）や浜下りといった風習など古くから伝わる文化を保全・継承します。



3. ソフト・ハードの基盤整備

■ 持続可能な地域づくりのハブとなる拠点の設置や遊具、遊歩道、植栽、標識等を整備やエコツアープログラムの充実、ルール作りを推進します。



4. 共創型の体制づくり

■ 自治体や特定の事業者等の枠を超え、地域一体の体制による自律的な管理運営を行います。



5. 経済の活性化や持続可能な地域づくり

■ 地域の個性を際立たせながら、地域内外の交流を促進し、自然環境に配慮した観光業や農漁業等の地域産業の活性化を図り、持続可能性を高めます。

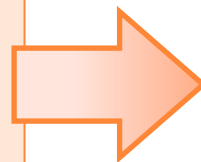


出所：青島ビーチパークHP

基本方針 1 : 自然景観や生態系の持続的管理

実施方針

観光業や農漁業との調整を図りつつ、関係機関と連携し、自然景観や生態系の保全・管理に寄与していきます。町民自身による調査や広く情報を発信することで、環境への理解を深め、積極的な取り組みにつなげていきます。



目標 (2023年度迄)

- ▶ 環境マネジメントグループの設置
- ▶ 植栽計画作成
- ▶ 町民・観光客の参加者増
- ▶ 副読本の作成

具体的な内容とイメージ

○ 環境マネジメントグループの設置

環境マネジメント基準の遵守を保証する役割を担います。当該グループは、町の所管課、マリン事業組合、NPO等、大金久地区の運営に関わる団体で構成します。

○ 副読本の作成

国立公園や与論島の環境についての理解を助ける環境教育用の副読本や環境情報としてまとめます。

○ 調査に参加

町民や観光客も自然環境の状態を調査できるプログラムの開発します。



出所：特定非営利活動法人
FEE Japan HP



役割分担

町民・観光客（事業者・地域・団体等）

- 事業者：委員会の運営、副読本の作成
- 町民・観光客：調査への参加

行政（国・県・町）

- 体制整備のサポート
- 海や地下水、生態系の再生をはかる制度や仕組みを整えます。



- 草木、底木を示す。(クサトベラ、モ)
- 底木を示す。(クワズイモなど)
- アプローチを示す。
- グラウンドカバーを示す。(芝など)
- 現在植栽されている草木、底木を示す(クサトベラ、モンバ、アダンなど)

植栽で建物への視線をカットする。

植栽で建物への視線をカットする。

視線を高所へ誘導する。

広場

防風林

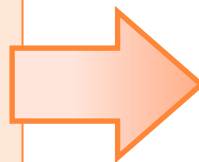
建物周囲には、現況敷地周辺と調和するよう草木や低木を植え、速度に建物を越し歩行者への圧迫感のないよう配慮する。

敷地道路側には常緑の中高木を植え、道路から建物が目立たないよう配慮する。また、常緑の高木は周囲に影を作り、広場で遊ぶ人達の壁根となり、涼しげなアプローチを演出する。

基本方針 2 : 環境文化の継承

実施方針

自然と人の暮らしとのかかわりを「環境文化」という視点でとらえ直し、地域の食文化や芸能、漁（いざり）や浜下りといった風習など古くから伝わる文化を保全・継承します。



目標 (2023年度迄)

- ▶ 体験・学習機会の提供
- ▶ 海洋教育との連携及び実践型教育プログラムの実施
- ▶ シンポジウム等の開催

具体的な内容とイメージ

○ 食文化や漁（いざり）、浜下り等の体験・学習機会の提供

エコツアーガイドや地域住民等との協働で体験プログラムを利用者に提供するなど、島の魅力の一つとして発信します。これらのことを踏まえ、環境文化に関する資源を一緒に掘り起こし、地域住民自身による集落の暮らしの見直しや自然の価値への気づきを促し、保全・継承と利活用につなげていきます。

○ 与論町海洋教育との連携や実践型海洋教育の実施

与論町で展開されている海洋教育と連携や海洋教育学生によるフィールドワークや観光ガイド、カフェの企画・運営、特産品開発など、社会において実施する実践型教育プログラムを地域と連携・協働して展開します。



役割分担

町民・観光客（事業者・地域・団体等）

- プログラムの魅力化
- 海洋教育への参画（地域サポーター登録等）
- 伝統芸能に対する理解の醸成を図る

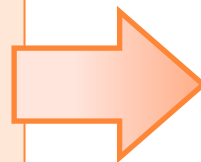
行政（国・県・町）

- 海洋教育の充実を図る
- 文化・伝統芸能の支援
- 旅行体験ツアー（文化プログラム）の造成支援

基本方針3：ソフト・ハードの基盤整備

実施方針

持続可能な地域づくりのハブとなる拠点の設置や遊具、遊歩道、植栽、標識等を整備やエコツアープログラムの充実、ルール作りを推進し、利用者に安全で快適な利用環境を提供します。



目標 (2023年度迄)

- ▶ **大金久地区全体の整備改善**
- ▶ **Muuru開設 (2023年3月予定)**
- ▶ **エコツーリズムの推進びルール化**
- ▶ **情報発信の充実**

具体的な内容 とイメージ

- **大金久地区全体の整備改善及びMuuruの開設・運営**
遊具、遊歩道、植栽、標識等を国・県・町が連携して大金久地区全体の整備を進めます。また、体験型海洋教育・地域コミュニティの拠点として豊かな海を次世代に引き継ぐための施設を開設・運営します。
- **自然体験活動等の開発・提供、ルール化**
自然配慮型・地域貢献型観光地として与論島らしいプログラムの開発・提供、ルール化等を関係者が一体となり取組めます。
- **国立公園等の利用者・住民・関係者への周知**
HP、SNS、町広報誌で島内外へのプロモーションを促進します。



役割分担

町民・観光客 (事業者・地域・団体等)

- コンテンツ開発・商品造成および情報発信
- イベントの企画・実施 (関係団体)
- ウォーキング等日常的な利用

行政 (国・県・町)

- 大金久地区全体の整備
- 条例等の法整備および広報
- コンテンツ開発・商品造成の支援

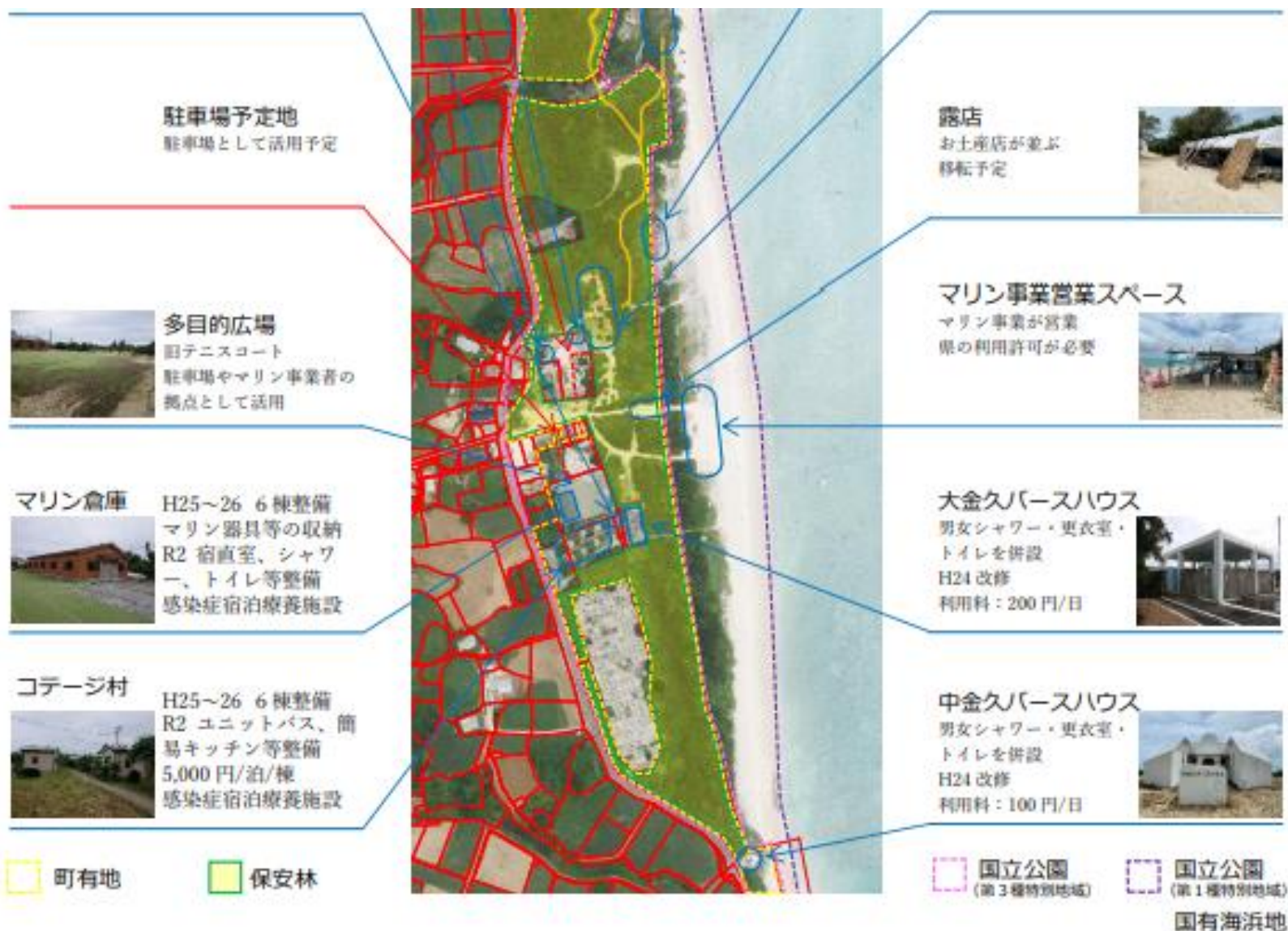
大金久地区全体図北側（大金久海岸園地・野営場）

大金久地区全体図（大金久海岸園地・野営場）



大金久地区北側

大金久地区全体図南側（大金久海岸園地・野営場）



大金久地区南側

2. 大金久エリア活性化コンテンツ（案）

アクティビティ Activity

体験やスポーツなど、主に体を動かして楽しむ活動

・ダイビング

・サーフィン

・ビーチヨガ 等



イベント Event

多くの人を集めてビーチで行われる催し

・ビーチスポーツ

・ブライダル

・フェス・祭り 等



ファシリティ Facility

ビーチを訪れる人のために設置された建物、設備等を活用して提供されるサービス

・ホテル

・レストラン・カフェ

・ショップ 等



引用：国土交通省HP

ソフト事業（イベント）

百合ヶ浜スターフェスティバル

星空・音楽・カフェ・ワークショップなどの融合型イベントを開催します。



出所：リゾナーレ熱海HP

年間通してビーチで行われる催し

地域の観光資源との連携により、大金久海岸エリアの特色を生かしたイベントを開催。年間を通して賑わいを創り出し、地域一体での収益拡大を図ります。

マリンスポーツ大会



ブライダル



フェス・祭り等



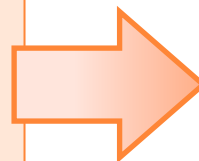
宿泊以外での コテージ利用



基本方針 4 : 協働型の体制づくり

実施方針

自治体や特定の事業者等の枠を超え、地域一体の体制による自律的な管理運営を行います。地域づくりに関わるプレイヤーが相互に受入れ可能な協力体制を敷いた上で、段階を踏みながら実現を目指します。



目標

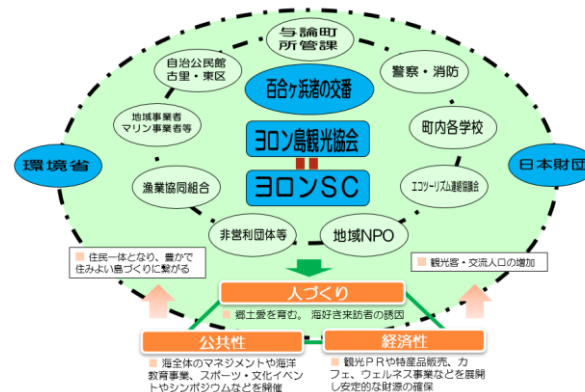
▶ 官民、広く関わる管理運営体制の構築

具体的な内容イメージ

○ 持続可能な管理運営体制の構築

「みんなの公園づくり」をテーマに、地域住民や関係機関・関係団体との意見交換の場を継続的に開催し、連携体制を強化するとともに、各種事業を通じて、協働で取り組む体制づくりを進めていきます。（例）右図はDMOの体制図

大金久地区の管理運営組織（案）



町民・観光客（事業者・地域・団体等）

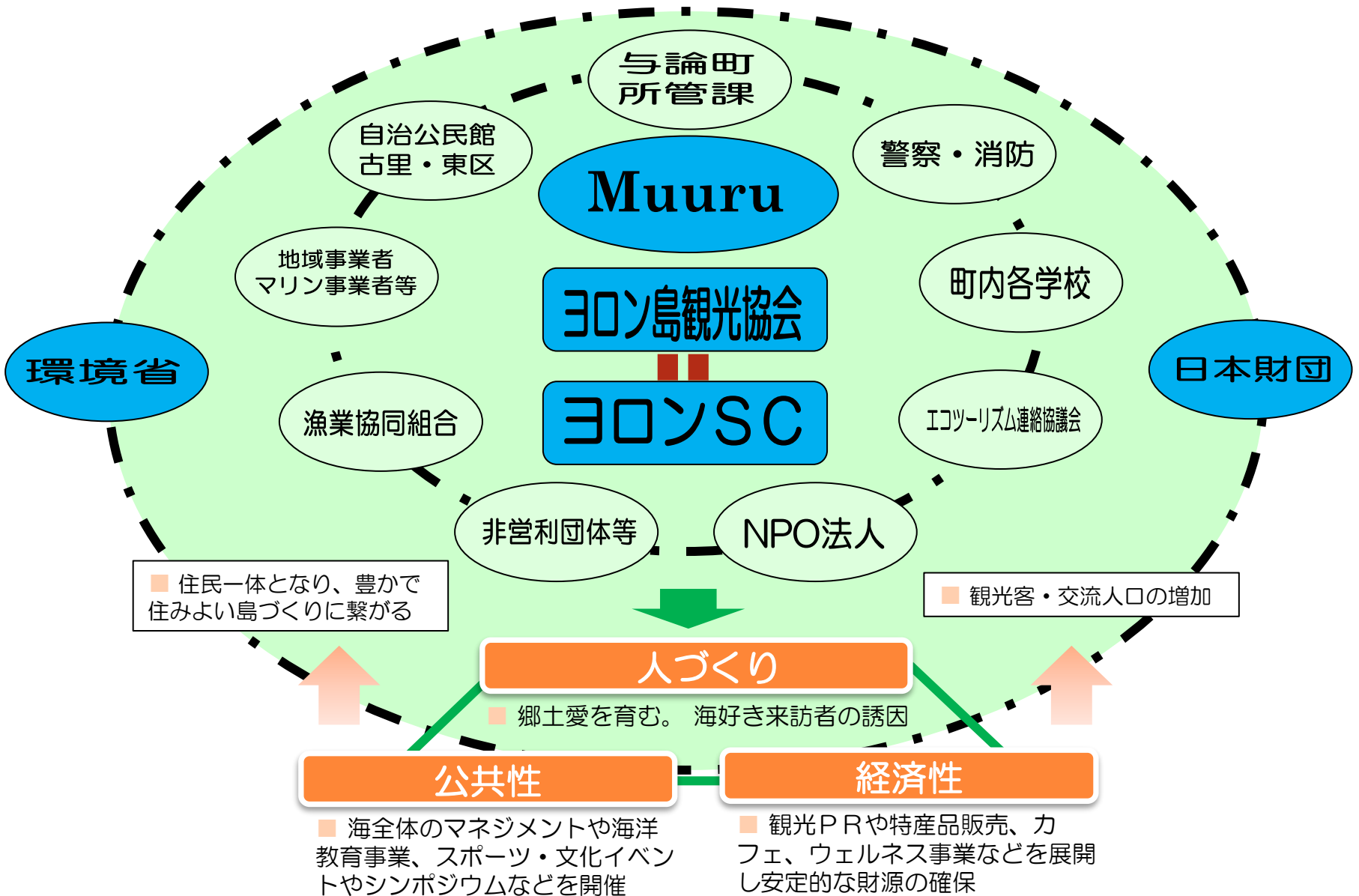
- 管理運営体制への参画

行政（国・県・町）

- 国・県・町との連携強化
- 事業委託や委託指定管理者制度の導入
- 各種支援措置

役割分担

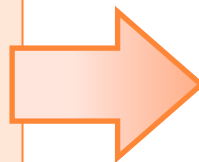
大金久地区の管理運営組織（案）



基本方針5：持続可能な地域づくりのための経済の活性化

実施方針

地域の個性を際立たせながら、地域内外の交流を促進し、自然環境に配慮した観光業や農漁業等の地域産業の活性化を図り、持続可能性を高めます。



目標 (2023年度迄)

- ▶ 朝市や産業祭の開催
- ▶ クリエイティブ人材の育成・雇用の創出
- ▶ 関係人口創出事業の実施(ワーケーション等)

具体的な内容とイメージ

○ 朝市の定期開催や広域連携産業祭の開催

月1回の「朝市」でとれたての野菜をはじめ、海産加工品などさまざまな商品を販売。交流のある沖縄県国頭村と連携して相互に魅力を発信する広域連携産業祭などを開催して様々な交流を図ります。

○ クリエイティブ人材の育成・雇用の創出

商品開発やデザイン等の支援をできる仕組みづくりを行います。

○ 関係人口の創出事業の実施 ※関係人口とは：ヨロン島と継続的につながりを持ち、「地域の課題と一緒に考えてくれる人」

島外に住むヨロン出身者やゆかりのある人を主な対象に、魅力再発見プログラムや海洋教育、ワーケーション等の事業を実施します。



出所：青島ビーチパークHP

役割分担

町民・観光客(事業者・地域・団体等)

- イベントの企画・実施(関係団体)
- 研修会への参加
- 商品のブランディング

行政(国・県・町)

- 人材育成・研修会の開催
- 特産品等商品開発の支援措置
- ワーケーション環境の整備支援等